

未来・ねりまニュース

平成22年4月

第4号

社会福祉法人未来・ねりまを支える会会報

目次

コラム「法人設立4年目に向かって」P1
ねりま事業所だよりP2
ねりま第二事業所だよりP3
事務局だよりP4
支える会だよりP4

発行所 社会福祉法人未来・ねりま

〒176-0013 東京都練馬区豊玉中 4-10-6

TEL 03-3948-0275 FAX 03-3948-5864

法人 E-mail honbu@mirai-nerima.or.jp

移行支援 E-mail ikou@mirai-nerima.or.jp

継続支援 E-mail keizoku-1@mirai-nerima.or.jp

ねりま第二 E-mail keizoku-dai2@mirai-nerima.or.jp

ホームページ <http://www.mirai-nerima.or.jp>

法人設立四年目に向かって

社会福祉法人未来・ねりま理事長

眞保 真人

社会福祉法人未来・ねりまが発足して、四年目を迎えています。昨年は、ねりま第二福祉作業所の法内化等、親の会の皆様や練馬区行政の絶大なご支援により、お陰様で順調に発展しています。

今年、東京都知的障害者育成会が、練馬区より受託した、大泉の練馬区障害者地域生活支援センターとの協同事業の展開や、親の会が永年努力してきた障害幼児教室を法人内の事業とする方向など、更なる発展に努めたいと思っています。

ねりま事業所施設長

菅野 絹子

「社会福祉法人未来・ねりま」が発足して四年目を迎えるようになっています。新事業体系に移り、就労移行・継続Bといった事業所の運営も順調に進み、就労者も九人となり、その定着について支援者は日々励んでおります。

年々、事業所入所者も多く、更には仕事も切れることなく工賃アップにつながり、利用者たちは働く喜びを感じております。

これからは社会に役立っている人だと思えるような、法人、事業所の充実発展を望みます。

ねりま第二事業所施設長

木村 智恵子

親の会の願いでもあった、社会福祉法人未来・ねりまが誕生して、四年目になるうとしています。ねりま第二事業所が法人の傘下に入り、一年目を迎えるようになっていますが、利用者は毎日元気に、楽しんで作業に励んでいます。また、法人化に伴い、職員たちも安心して働けるようになりました。

今後は、親の願いを一つひとつ形にしていけるよう、多くの方々に情報を発信し、理解、協力をお願いしながら、頑張っていきたいと思っています。

社会福祉法人未来・ねりま事務局長

齋藤 洋

本年4月に「幼児教室」が法人内事業に移行します。これにより、職員総数は38名、利用者総数は約100名になり、練馬区内の知的障害者の社会福祉法人では屈指の規模となります。また、東京都知的障害者育成会との相談支援事業の連携業務が4月から開始され、未来・ねりまは練馬区内での責任が増すと共に、地域法人としての活躍場面が広がります。

四年目に向かって、未来・ねりまの飛躍に微力ながら貢献したいと考えています。

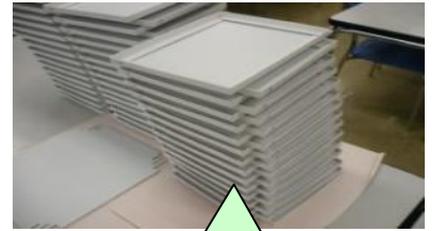
ねりま事業所だより

就労移行支援事業

就労移行支援事業は、21年度8名でスタートしました。今年の仕事は、「準備～片付けまで」を目標にしてきましたが、こちらからの声かけがなくても時間や予定表を見て、行動できるようになりました。入荷や出荷、在庫管理も自分たちで行い、仕事に対する責任感がグッとあがりました。



池袋にある喫茶店「ポルテ・ヴォヌール」で喫茶実習をさせていただきました。



箱おり、こんなにたくさん、きれいにできるようになりました!

そんな中、今年も、3名の方が一般就労しました。仕事は毎日大変ですが、一生懸命頑張っています。会社の担当者からは、「よく頑張っていますよ!」と好評価をいただいています。

ねりま事業所での仕事も、会社での仕事も大変ではありますが、これからも体に気をつけていっぱい笑顔を見せてもらいたいです。

就労継続支援(B型)事業

平成21年度の就労継続支援(B型)事業は、利用者34名でスタートしました。年度途中に入所された方や退所された方もあり、現在は32名になりました。毎日、付録等の受注の仕事や、公園・アパート清掃、喫茶の仕事を頑張っています。



年末の受注作業風景です。毎年、年末年始は受注の注文が多く、毎日が慌ただしくなってしまう。とても忙しい中、みんな残業して頑張ってくれました。本当にお疲れ様でした!

3月14日に皇居マラソン大会がありました。毎年本番に向けて、一生懸命に練習しました。今年は雨が降って、予行練習ができませんでしたが、本番は天気も良く、みんな怪我無く元気に完走出来ました!



3月26日は葛西臨海公園にバスハイクに行きました。水族館には色々な世界の魚がいました。昼食を食べた後は、シルク・ド・ソレイユを観ました。すごい迫力で、とても面白かったです!

ねりま第二事業所だより

2010年がスタートし、長い冬もいよいよ終わりに近づいてきましたね。ねりま第二作業所はねりま第二事業所に名前が変わり、小規模作業所から自立支援法の就労継続支援(B型)事業所として移行し、もうすぐ1年が経とうとしています。利用者・職員共にまだまだ慣れないことも多く戸惑いつつも、少しずつではありますが前に進んでいるところです。

ねりま第二事業所の仲間達は、毎日楽しく元気に仕事をしています。また、3月14日(日)に行われる福祉マラソン大会に向けて、出場者は勿論のこと出場者以外の利用者も健康維持の為に、マラソンの練習に参加し皆で気持ちのよい汗を流しています。

平成 21 年度後期活動報告

9月 スポーツの集い(東京体育館)

10月 宿泊訓練(1泊2日)

今回の宿泊訓練は、静岡県に行きました。酪農多国オラッチェでアイスクリーム作り体験をしました。とても美味しく作れて皆大満足でした。また、伊豆シャボテン公園では、色々な種類のサボテンを見たり、チンパンジーのショーを見て楽しみました。

12月 障害者フェスティバル(光が丘区民センタ)

親の会クリスマス会
年忘れ会

スポーツの集い



リレーで優勝しました~!とっても嬉しかったです!



アイスクリーム
美味しくできました!



酪農オラッチェ

伊豆シャボテン公園

作業風景

電気部品の組み立て

電球のソケットの中に入る、小さな部品の組み立てをしています。当事業所の仕事ではとても難しい作業です。

チラシ折り

宅配ピザ、寿司、クリーニング、不動産屋等のチラシを折っています。角と角を合わせるのに真剣です。

ポステイング

マンションや一軒家のポストに情報誌を入れる作業です。寒い中、歩いて頑張っています。

次回もお楽しみに☆



初めまして、薬師寺博之です。ねりま第二事業所にきて半年が過ぎました。この半年間とても楽しく過ごさせて頂いており、毎日が充実しています。私は中学生からバスケットボールをやっており、現在でも社会人チームでプレーしています。また、水泳のインストラクターをやっていた事から、泳ぐことも大好きです。スポーツがとても好きなので、ねりま第二のみならず、体を動かしながら、楽しく明るくやっていければと思います。

職員の豆知識

●平成21年度事業活動概要報告

ねりま事業所は順調に推移し、就労移行支援事業では3名の一般就労と1名のトライアル就労に結びつきました。就労継続支援（B型）事業は新規受注作業により工賃収入増となりました。

平成21年4月にねりま第二事業所は就労継続支援（B型）事業35名定員32名在籍で事業開始し、1名が一般就労し、工賃もねりま事業所からのLP清掃、百草詰め作業移管により、順調に運営出来ました。

幼児教室は昨年春から区担当部署と法人内事業移管に関する調整を行い、1月の親の会臨時総会で法人移管決議を受け社会保険等の整備を図り、本年4月に社会福祉法人未来・ねりま幼児教室「とことこ」となります。

(1) 本部事務局

グループホーム・ケアホーム計画では専用住宅の転用は、建築基準法や消防法等から中断しましたが、新規開設の建設費積立は続けると共に、グループホームに適する建設候補地や建築設計の情報収集を進めています。

東京都育成会が受託した大泉障害者地域生活支援センターに対して、練馬手をつなぐ親の会及び地域法人未来・ねりまが相談支援やペアピアカンセリング事業に人材等を派遣して業務協力することになりました。

(2) ねりま事業所 就労移行支援事業

池袋公共職業安定所と連携、職場訪問、実習先開拓を行い、12月(株)ニトリ社に2名、2月(株)カクヤス社に1名就職し、3月に1名がトライアル就労中で、4月在籍者8名の内、4名が就労に結びつきつつあります。

休日余暇活動として練馬区就労支援ネットワーク会議主催の余暇活動(たまりば)の企画・運営に参加し、またすてっぷとの共催で、大泉たまりばを実施しました。

(3) ねりま事業所 就労継続支援(B型)事業

4月に利用者34名で事業開始、3名の退所・転籍、1名の中途入所で現在は32名の在籍となりました。

清掃は豊玉公園（1月より豊中公園）、アパート・マンション共用部は13棟を週3日、神学校を週2日実施しています。新規作業は百草清掃・詰め作業、フリーペーパーのチラシ封入作業等を受注しました。これらにより、目標工賃達成加算の対象事業所となりました。

喫茶「ふれんど」「ゆうゆう」は個別支援計画で、利用者の7名を新しく増やし、女性14名、男性3名で運営しています。工賃もアパート共用部のLP清掃棟数増や新規受注により昨年比1割以上の増収となりました。

(4) ねりま第二事業所 就労継続支援(B型)事業

4月より、就労継続支援(B型)事業所として35名定員で事業開始、6月に1名入所し在籍者数は32名となりました。個別支援計画による支援とレインボーワークの協力により1名がライオンゲーム社へ就職しました。

新規授産種目開発助成金300千円と施設整備等積立金で、9人乗りハイエースを購入し、アパート共用部のLP清掃を開始し、約500千円の工賃収入増となりました。不景気により付録等の受注は激減しましたので、受注の工賃収入は減りましたが、ねりま事業所からアパート共用部のLP清掃、百草清掃・詰め作業移管により、総合的な工賃収入は昨年比1割弱の増収となりました。

支える会だより

○社会福祉法人未来・ねりまを支える会 入会のご案内

<目的> (社福)未来・ねりま及びねりま事業所・ねりま第二事業所の充実発展と利用者の支援・啓発に寄与すること。

<会 員> 利用者・保護者、役員・職員・お取引業者等の法人関係者、親の会会員等でどなたでも入会出来ます。

<年会費> 1口 2,000円ですが、希望口数としては、個人1口以上、団体・企業等5口以上でお願いしています。

<振替口座> 郵貯 00110-4-544768 社会福祉法人未来・ねりまを支える会(払込料金は会負担で手数料は無しです)

<お問合わせ> 練馬区豊玉中 4-10-6(社福)未来・ねりま ねりま事業所内 TEL3948-0275 FAX3948-5864 支える会事務局(齋藤、江連)にご連絡下さい。入会申込書兼入会受付書及び会則をお送り致します。